



◀この看板が目印です

Sunday
9/4

悩みを語り合うことで、日々を前向きに 「多久がんサロン ハート」でお待ちしています

今年6月に誕生した「多久がんサロン ハート」は、がんになり、悩みや辛さをかかえている患者や、その家族がその思いを語り合う場として、月に1回ほど、中央公民館で開催されています。サロンにはがんを体験した人や、看護師が参加して、体験談やアドバイスを聞くことができます。

事務局の進藤さんは「がんは誰でもなりうる病気です。病気になって不安な心のケアをできればと、サロンの名前を“ハート”とつけました。おしゃべりしに、気軽にお立ち寄りください」と笑顔で話されました。

▶楽しくおしゃべり
されているみなさん



Monday

8/29

子どもたちに笑顔をお届けます！ クラウンいちろうくん

青い鳥保育園にクラウンいちろうくん（本名：大石一郎さん）が訪問し、手品やバルーンアートを使って園児たちとふれあい、剣やうさぎをモチーフにしたバルーンアートをプレゼントしました。

大石さんは、埼玉県川越市でホスピタル・クラウン（病院などで心のケアをする道化師）として活動。東日本大震災をきっかけに、現在は被災地や全国の保育園、幼稚園などをバイクで回り、クラウン活動を行っています。

大石さんは「被災地支援でつながった輪が広がって次の活動につながっています。子どもたちの笑顔を見るのが一番のやりがいです」と話しました。



▲子どもたちと触れ合う大石さん

Saturday

9/10

長寿の秘訣は？ 市長 最高齢者および100歳訪問

敬老の日を前に、横尾市長が最高齢者の安藤ハツヨさん（105歳）と今年度100歳になる該当者の長寿をお祝いするため訪問しました。安藤さんは「感謝、忍耐、人の悪口は言わない、欲を出さない、人を尊ぶこと」と長寿の秘訣を話されていました。

今年度、100歳該当の市民は17人で、国から祝い状と銀杯が、市から祝い状、祝金、花束が贈られました。

また、88歳該当の142人と、最高齢者を除く101歳以上の11人に市から祝い状と祝金を贈りました。

▶最高齢者と100歳長寿者を囲んで記念撮影



▶みんなで仲良くうどんをこねました。



みんなで過ごすの楽しいね♪ 「通学合宿」で絆が深まる

Wednesday
9/14

Saturday
9/17

公益財団法人孔子の里が行っている「通学合宿」が、今年も東原庁舎で開催。市内の小学3～5年生37人が参加し、3泊4日寝食を共にしました。

通学学習では、多年齢で共同生活することで異なる年代とのコミュニケーションを学ぶなど、子どもたちの自立を目指しています。

16日の夜は、麺工房こうきの早田さんの指導で、うどん作りに挑戦。自分で作ったうどんはとっても美味しく、おかわりをする子もいました。「初めて参加して楽しかった。うどんが美味しい」と笑顔の子どもたち。

子どもたちが助け合う姿に成長が感じられました。

◀真剣に話を聞く子どもたち

